

#2 道路施設：高速道路とインターチェンジ



横浜青葉インターチェンジ -大地にレイアウトされたクロソイド曲線-

かつては近代都市の象徴ともなっていたインターチェンジ(IC)であるが、現在では、高速道路や都市交通の発展によって、地域の原風景ともなっている。横浜青葉ICは、東名高速道路と国道246号とを接続するICであり、首都圏西方の主要ICとして機能する。ここで、IC（インターチェンジ）とは、立体交差する（または隣接する）道路相互を接続するもので、特に高速道路と高速道路とを接続する場合、JCT（ジャンクション）と呼ぶ。